令和4年度三郷市上水道事業特別会計予算の概要

1. 業務量

給水戸数は73,150戸で、前年度と比べ400戸(0.5%)の増、有収水量は15,141,000^mで、前年度と比べ188,000^m (1.3%)の減を見込みました。

2. 収益的収支の状況（税込）

収入の大部分を占める給水収益を前年度に比べ10,315千円(0.5%)の増、消費税等還付金を8,203千円の増とし、収入全体では11,829千円(0.5%)の増を見込みました。

支出では受水費や委託料といった営業費用を前年度に比べ42,525千円(1.7%)の増、利息の支払いといった営業外費用を2,054千円(4.2%)の減とし、支出全体では40,471千円(1.6%)の減を見込みました。

収益的収支の差引額は28,958千円で、前年度に比べ28,642千円(49.7%)の減となり、消費税等の影響額を差し引いた結果、純損失を51,743千円と見込みました。

3. 重点施策

①災害に強い施設整備の推進

・配水管整備事業（予算額 888,480千円）

石綿セメント管や早稲田地区の配水管などの老朽管の布設替えを進め、管路の耐震化を推進していきます。

・県水直送管整備事業（予算額 159,000千円）

令和3年度より着手している、県の浄水場から購入した水を送るための送水管と、市の配水管とをつなぐ直送管の整備事業を継続して実施します（3か年事業）。